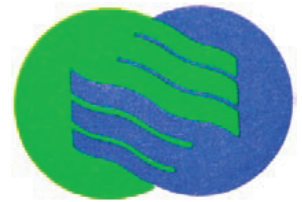


ANIC info



Association for
Nakano
International
Communications

やさしい日本語でコミュニケーションを円滑に！

With コロナ時代の国際交流

30年ぶりの再会！？～中野・ウェリントン友好子ども交流～

北京市西城区から中野区にマスクが寄贈されました

中野区国際交流協会

8か月ぶりの日本語講座／子ども日本語クラス

第2回日本語指導員養成講座

外国人のための専門家相談会／30周年記念ウィーク

日本語ボランティア実践講座

2020

November

日本で一番やさしい やさしい【わかる】日本語講座 23人が修了しました！

やさしい(わかる)日本語 課題

原文：東京都国際交流委員会 HP「外国人のための生活ガイド」

地震

日本は地震の多い国です。地震が起きても決してあせらずに！
いざというときに困らないためにも、食品類の賞味期限や特出品の不備を
定期的に点検しておきましょう。

地震にそなえて

○非常時持ち出し品の準備

リュックサックなどに、避難のとき必要なものをまとめ、家族全員が知って
いる場所に置いておきます。

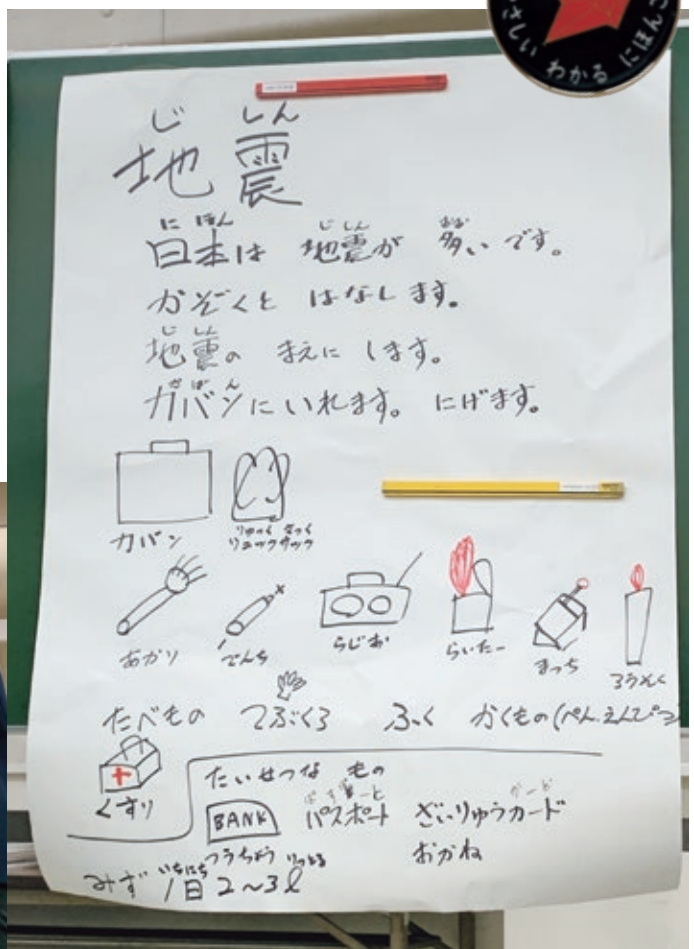
ーリュックサックに入れる物ー

懐中電灯、乾電池、携帯ラジオ、ライター、マッチ、ろうそく、保存が出来る食
べ物、軍手、防水シート、衣類、筆記用具、救急セット

貴重品はすぐ持ち出せるようにしておきましょう。

預金通帳、パスポート、在留カード、現金、常備薬

飲み水は、ひとりにつき1日2～3リットルを用意しておきましょう。



やさしい日本語でコミュニケーションを円滑に！

2020年8月出入国管理庁と文化庁が「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」を作成しました。中野区国際交流協会（ANIC）でも、この秋「日本で一番やさしい【わかる】日本語講座（全6回）」を開講しました。最近、様々な分野で取り組みが広がる「やさしい日本語」についてご説明します。



『やさしいにほんご』ってなあに？

外国の人が日本語を学ぶためのツールではありません。日本人である私たちが意識することで生まれる一つの言語です。来日して半年、日本語を学び始めたばかりの外国人を想像してみてください。その人が知っている日本語の文法や語彙を想像してみてください。相手が知っていそうな文法や語彙を想像し、相手がわかる日本語で話す…それが「やさしい日本語」です。

例えば
記入する（N2以上）⇒ 書く
大規模（N2以上）⇒ 大きい

※N2は、日本語能力試験のレベル。数字が少ないほど上級者レベル。

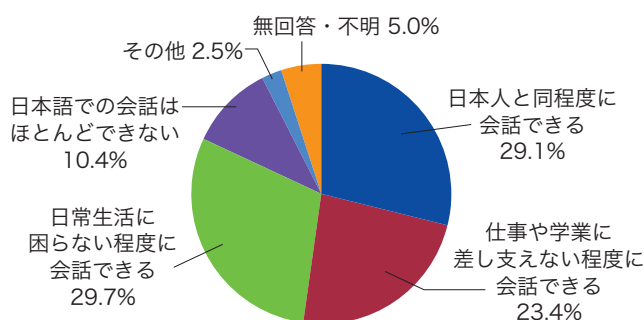
中野区にも130か国、約2万人の外国人が暮らしている

日本に住む外国人はこの30年で3倍に増え、現在は国籍が多様化しています。1988年には全体の7割が韓国・北朝鮮だったのに対し、2019年には中国、韓国・北朝鮮、ベトナム、フィリピン、ブラジルの5か国で7割になっており、それだけでも多言語対応するなら5言語になります。中野区においても同様に多様化しており、多い順に中国、韓国・北朝鮮、ベトナム、ネパール、フィリピン、アメリカ、ミャンマーとなっており、様々な言語や文化をもった人々が暮らしています。

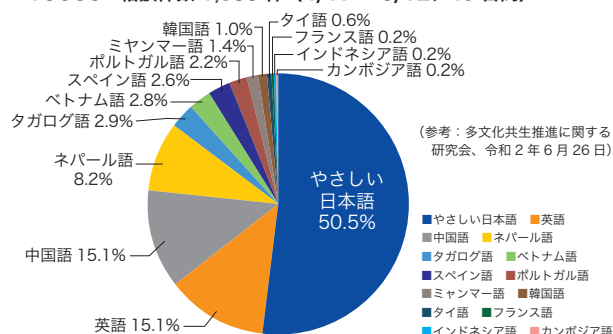
8割の外国人が日本語で会話できる

2016年度法務省「外国人住民調査報告書」によると、日本語で会話できると答えた外国人は8割を超えています。2018年度東京都国際交流委員会の調査では「希望する情報発信言語」として「英語」より「やさしい日本語」を希望する人が多いことがわかっています。また、2020年4月に開設された東京都外国人新型コロナ生活相談センター（TOCOS）の相談言語を見ても、相談者の半数がやさしい日本語で相談をしており、コミュニケーションの手段としての「やさしい日本語」の重要性が高まっています。

（参考 2016年度 法務省「外国人住民調査報告書」）



TOCOS 相談件数 1,935件（4/17～6/12、40日間）



医療現場でも注目される「やさしい日本語」

新型コロナウイルスの感染拡大は、日本国内で暮らしている外国人にとっても命に関わる問題でした。

不安が広がっていた4月下旬、順天堂大学医学部の武田裕子教授は、医療現場に「やさしい日本語」を普及しようと動画サイト（<https://www.juntendo.ac.jp/co-core/consultation/yasashii-nihongo2020.html>）を作成されました。

また内容がより充実した形となって、9月下旬には順天堂大学、帝京大学、聖心女子大学が共同で外国人診療に役立つ「やさしい日本語」の動画教材を作成し公開されています（<https://www.juntendo.ac.jp/news/20200925-01.html>）。

医療現場での活用がますます期待されています。

中学1年生の英語レベルをイメージしてみよう！

中学1年生の英語レベルをイメージしてみると、私たちは知っている文法も単語もかなり限られていることに気が付きます。相手が「やさしい英語」で話してくれたら、とても気持ちが救われるはずです。それを「日本語」に置き換えることで、外国人とのコミュニケーションが格段にとりやすくなるはずです。

『やさしい日本語』作り方のコツ

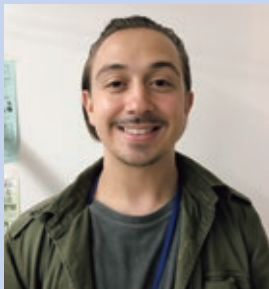
- ① 難しい言葉を使わない。
- ② センテンスを短く。
- ③ 敬語は使わない。
- ④ わかち書き。
- ⑤ ふりがなを付ける。



写真とイラストの有効な用い方も学ぶ

「やさしい（わかる）日本語」にすると通じる？

9月1日から10月13日まで毎週火曜日に実施した「日本で一番やさしい、やさしい（わかる）日本語講座」では、実践演習の機会を設け、「やさしい日本語」が本当に通じるのかどうか…ご協力いただきました。



ギャビンさん
(アメリカ出身)

日本語学習歴 数か月

英語の先生をしていたので、毎日日本語を使いませんでした。この講座の税金や役所の文は、漢字ばかりで、内容はほとんど分かりませんでした。でも6つのグループが「やさしい日本語」にして、文が分かりました。



エフゲニーさん
(ロシア出身)

日本語学習歴 6か月

区内の日本語学校で半年勉強しています。講座はとてもおもしろかったです。毎回はじめに漢字がいっぱいの「たいへんなことば」の文があります。先生が読むと少し分かります。それをみなさんが「ふつうのことば」にすると、すごく分かりやすくなりました。たすかります。

「やさしい（わかる）日本語講座」受講生の感想

自分で考え実践することに重点が置かれていたため段々と力が付いていくのが実感できた。



実際に外国の方に、わかるかわからないかを聞きながら進めていくスタイルはとても斬新でおもしろかった。



私の職場は、外国の方はいないけれど、高齢の方やコミュニケーションをとるのが難しい方がいます。そういった方にも、伝わりやすい言葉を学ぶことができて仕事にも活かすことができそう。



「やさしい」のレベルが思っていたものと全然違った。受講前は、ふりがなを振る程度の作業と考えていたが、文の作り方から考えていかないと相手に通じないということがよく分かった。



外国の方が増えている現在、あらゆる場面で「やさしい日本語」が必要とされていると思う。人々の意識の中にも、わかりやすく話す、書く、伝えるということが広がっていかなければならないと思う。



中野区国際交流協会（ANIC）では、10年以上前から「やさしい（わかる）日本語」に注目し、防災訓練や専門家相談会での取り組み、また5年前からはホームページにも一つの言語として取り入れています。自治体や医療現場などで広がりを見せていることはとてもうれしいことです。私たちは日本で一番やさしい「やさしい（わかる）日本語」の手法を取り入れることで、人と人とのコミュニケーションがより豊かになればと願っています。

With コロナ時代の国際交流

30年ぶりの再会！～中野・ウェリントン友好子ども交流～

新型コロナウイルスの影響で今年は7月にウェリントンへの派遣ができませんでしたが、そんなとき1991年にこのプログラムで来日したサムさんから、その当時のホストファミリーを探しているとANICに連絡が入り…、あちこち探しておふたりをつなげることができました。

サム・ピアソンさん

①約30年前、この交流プログラムに参加したときのことを聞かせてください。

ウェリントンの中学と高校で基礎的な日本語を勉強していました。あいさつ、決められた表現、短文とひらがな・カタカナです。よく使っていた言葉が「テレビゲームしてもいいですか」だったことを覚えています。知弘の任天堂はたぶん私たちをつなげる最初のツールになりました。彼はシムシティが好きでした。彼の家族は、スポーツをしたり木に登ったりするところに知弘と弟と一緒に連れて行ってくれました。日本語や英語というより、遊びを通して十分な交流ができました。

②どうして、30年ぶりに山本さんと連絡したいと思いましたか。

私たちがこの交流プログラムに参加してからしばらくは手紙の交換をしていました。でも14歳のときにそれを自分がやめてしまったように思います。交流を続けなかったことをちょっと後悔しながらずっと過ごしていました。そして、彼や家族はどうしているのかなあとずっと思っていました。

③連絡がとれたとき、どう思いましたか。

ものすごくうれしかったです。昔の友人に会うのに遅すぎることはないんだと思いました。知弘の近況や奥さんと子どもについて知ることが出来てうれしかったです。知弘のご両親や弟さんの顔を写真で見ることができました。健康で幸せそうでした。

④今は何をしていますか。

私はスポーツイベントとプロスポーツ選手との仕事を専門にしています。私の現在の仕事は日本でオールブラックスを宣伝することであり、昨年はラグビーワールドカップで非常に忙しくてやりがいがありました！今、私は東京がオリンピックとパラリンピックを(どんな形であれ)開催するのを楽しみにしています。最近では、暇なときにレストランや温泉を楽しんだり、日本の自然や文化の美しさを探索したりしています。

⑤後輩へのメッセージとこのプログラムに参加してよかったことを教えてください。

「中野・ウェリントン友好子ども交流」は私の人生を変え、自分の国や文化を超えて世界がどれほど大きくて面白いかを知るのに役立ちました。他の家族と過ごす時間は非常に貴重な経験であり、ホストとホストされる側の方の信頼、親切、勇気によるものです。今は新型コロナウイルスの影響で、行き来はできませんが、ニュージーランド人と(たとえばビデオ通話で)つながり、交流を図ることはできます。機会があれば必ず足を運んでみてください！

⑥日本の好きな食べ物や場所は？

もちろんお寿司、大学卒業後、ラッキーなことに北海道で2年英語を教えました。そこのウニは絶品でした。数か月前、私は横浜、下田、京都へ行きました。沖縄の島々や北海道で旧友に会ったり、行ってみたいところはたくさんあります。

山本知弘さん

①約30年前、この交流プログラムに参加したときのことを聞かせてください。

交流に参加したのは谷戸小6年(ホスト)と十中1年(ゲスト)のときです。NZでの滞在先は、前年に我が家に来てもらったサムの家でした。当時はろくに英単語を知らず、もっぱら和英辞書を引きながらサムの家族とやりとりしました。「たくさん食べておなかがいっぱい」ということを伝えるときに、ガソリンの「満タン」という言葉を引いて伝えたと、サムが「そのジョーク、最高！」と大笑いしたことをよく覚えています。

②30年ぶりにホストスチューデントから連絡があったときは、どう思いましたか。

とにかく驚きました。国際交流協会の鈴木さんから私のSNSに9時過ぎに連絡があり、メールアドレスを伝えると、2時間も待たずにサムからメールが届きました。使い慣れない英語で返事を書くことに焦りつつ、長く忘れていた記憶をあれこれ思い出して、温かい気持ちになりました。

③今は、何をしていますか。

朝日新聞の記者をしています。実は4月に、5年半ぶりに東京に戻ってきたところでした。このタイミングで連絡をもらえたのも、何かの縁なのかなと思いました。

④後輩にメッセージをお願いします。交流プログラムに参加してよかったことを教えてください。

何しろ30年近く前のことなので、とても難しい質問です。うまい答えがみつからずに何日も悩んでしまいました。今から振り返ると、プログラムへの参加で自分が得たものは、学校の外に広い世界が広がっていることへの「気づき」だったと思います。背伸びをしなければ知らなかったことに触れるチャンスが準備期間を含めてたくさんあり、そのことは自分自身を見つめ直すきっかけにもなりました。

今年のプログラムが延期になったのは残念ですが、それでも得られる「気づき」がきっとあるはずですよ。この経験が、みなさん自身の成長につながることを祈っています。



再会が叶った
おふたり



プログラムに参加
した当時のサムさん
(左)、山本さん(右)

北京市西城区から中野区にマスクが寄贈されました

4月中旬ごろ、友好区関係にある北京市西城区からマスクを寄贈したいとの打診がありました。緊急事態宣言が発令され、新型コロナウイルスが国内で猛威をふるっていたころです。

中野区国際交流協会でも、日本語講座が2月下旬から中止になり、中国語・韓国語・英語の講座も開始時期が定まらず、新年度にも関わらず先が見えない時でした。

1986年に友好区関係を締結してから、中野区と西城区は市民交流を大切にしてきました。34年間、順風満帆なときばかりではありませんでしたが、多くの人が交流に関わることで継続されてきました。今回も、1月に中国武漢で新型コロナウイルス感染者が多数出ているとき、民間レベルで西城区にマスクを届けてくださった方々がいらっしゃいます。

そして中野区でマスクが最も不足していたところに、西城区からお話がありました。予想以上に手続きは複雑だったそうですが、8月下旬にようやく1万枚のマスクが中野区役所に届きました。これらのマスクの一部は、中野区国際交流協会でも活動するボランティアや日本語学習者などにも配布されました。西城区からは「一衣帯水、守望相助（お互い見守りながら助け合う）」のメッセージをいただきました。海を隔てた向こう側に、気にかけてくれる友がいることは心強いですね。



西城区から届いたメッセージつきの段ボール箱

イベント レポート

8か月ぶりの日本語講座

大人を対象とした日本語講座が8カ月ぶりに再開しました。ボランティア同士も久しぶりの再会に喜んでいました。学習者は少ないスタートでしたが、飛沫対策をしながらのスタートでしたので、いつもの半分の人数で安心して行われました。少しずつ元の賑やかな日本語クラスになればいいと思います。



子ども日本語クラス

新型コロナウイルスの影響で4か月間実施できず7月からスタートしました。8月まで区内の小中学校も授業があり、休みが短かったので夏休み子ども日本語クラスはありませんでした。子どもたちは9月1日から子ども日本語クラスに戻って勉強を始めました。教室では、検温、手洗い、マスク着用を徹底して、コロナにかからないよう気を付けています。不自由なこともあります。コロナで遅れた勉強を取り戻そうと、ボランティアの先生といっしょに明るく楽しく頑張っています。



第2回日本語指導員養成講座

10月22日から全6回の予定で、日本語指導員養成講座がスタートしました。この講座は、すでに日本語教育能力検定試験など日本語指導の資格を持ち指導経験が一定以上ある方を対象に実施しています。外国から中野区内の小中学校に転入してくる子どもたちには日本語指導が必要となります。中野区国際交流協会では、中野区教育委員会の実施する日本語適応事業に日本語指導員を派遣しているほか、今年度から中学生日本語集中教室を実施しています。養成講座では、外国から来日する子どもたちの状況や課題について研修していきます。今後も、子どもたちが日本語を学べる環境の充実を図っていきます。



外国人のための専門家相談会

法律・ビザ・税務・労働・経営・年金・教育など生活で困っていること、聞きたいことを専門家に通訳付きで相談ができます。無料。事前予約が必要です。

日時 11月14日(土) 13:00～17:00

会場 なかのZERO西館

対応言語 やさしい日本語、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語、フィリピン語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、アラビア語

申込み 11月6日(金)までに、電話(03-5342-9169)またはメール(anic@nifty.com)で、①あなたの名前、②あなたの言葉、③相談したいことを、お知らせください。



30周年記念ウィーク パネル展へお越しください!

パネルや写真などで皆様と共に歩んだ30年を振り返りたいと思います。

日時 11月25日(水)～28日(土) 25日13:00～17:00
26、27日9:00～17:00、28日9:00～12:00

なお、14時より表彰式を予定しています。

場所 なかのZERO西館 美術ギャラリー1F、2F



日本語ボランティア実践講座受講生募集

期間 12月15日(火)～2021年3月30日(火) 毎週火曜日 18:30～21:00(全15回)

場所 なかのZERO西館3F 会議室 (2月24日は水曜日)

対象 20歳以上の区内在住・在勤・在学者または会員で当協会のボランティアとして活動できる方

定員 30人程度

講師 NPO 多文化子ども自立支援センター 代表理事 中山眞理子氏

受講費 15,000円(賛助会員:13,000円) 別途教材費

申込み 小論文「地域の多文化共生と日本語ボランティアの役割」(自筆で1,000字程度)と受講申込書を協会までご持参ください。<11月13日(金)必着> ホームページもご確認ください。



編集後記

ギャビンさんとエフゲニーさんに「やさしい日本語」でインタビューしてみました。相手にどんどん話してもらうことで、どの言葉なら知っているかが分かります。言葉を選んで通じたときは、初めて使った外国語が通じたような喜びがあります。(S)

